

特集 豪雨の爪あと

# 今、わたしたちにできること

令和5年6月2日。磐田市に甚大な被害をもたらした令和4年の台風第15号から1年も経過していないこの日、再び台風の被害にあった。  
(写真：磐田市敷地地内)

# 台風第2号に伴う豪雨の特徴

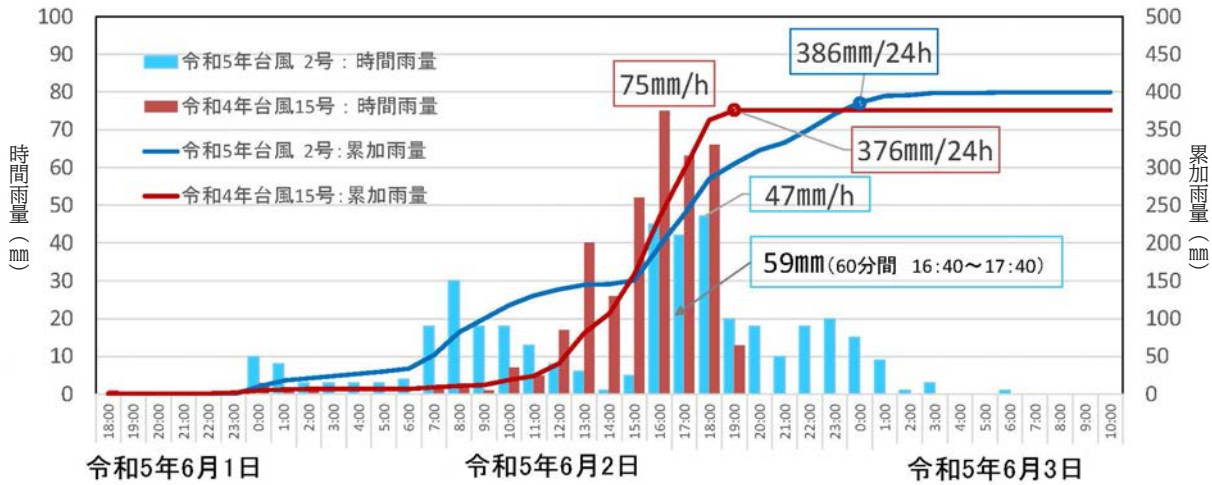
令和5年6月2日、台風第2号に伴う大雨により、静岡県の中西部では線状降水帯が発生し、記録的な大雨を観測しました。磐田市でも床上浸水など、多くの被害が発生しました。

2度の雨のピークを迎えた市北部の豊岡地区では、平成6年から開始した敷地雨量観測において、昨年9月の台風第15号で記録した24時間雨量376ミリを上回る386ミリの雨量を観測しました。

台風第15号では観測史上最大となる雨量により、敷地川が決壊しました。その後、仮堤防で仮復旧をし、恒久的な新堤防の本格工事に向けて準備を進めていた矢先、記録的な豪雨により、同日午後6時ごろに堤防は再び決壊してしまいました。

令和5年台風第2号と令和4年台風第15号の雨量比較

【敷地雨量観測所】



※令和4年の台風第15号の雨量は、令和5年の台風第2号の雨の降り始めに合わせて表示したものであるため、実際の時間とは異なります

## 市内での被害について

人的被害.. 死者1名  
浸水被害.. 床上浸水18件  
床下浸水25件

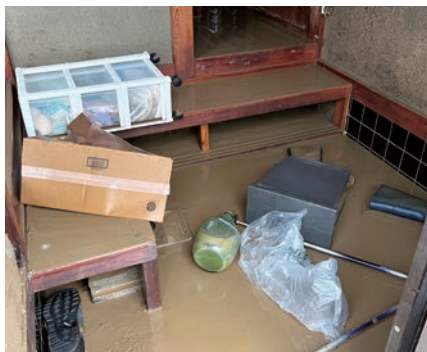
(上野部、敷地など)

河川被害.. 2河川3カ所  
(敷地川、中川幹線排水路)

土砂崩れ.. 1カ所(敷地)  
道路被害.. 林道2路線

(虫生線、神田線)

農業被害.. 農地23カ所  
農業用施設15カ所  
(6月30日時点)



## 敷地川の復旧

市内北部を流れる静岡県管理の「敷地川」。6月2日の観測史上最大となった雨により、堤防が決壊しました。

翌日から静岡県による仮復旧工事が始まりました。国からも緊急災害対策派遣隊が派遣されるなど、関係機関が連携して、早期の復旧に取り組んでいます。



6月2日 決壊した敷地川堤防



6月6日 大型土のうの設置



6月8日 仮設道路の設置



6月26日 根固めブロックの設置



6月21日 堤防に鋼矢板の設置



皆さまからの温かい支援

今回も開設した「災害ボランティアセンター」には、昨年の台風第15号の時にもご協力いただいた方をはじめ、延べ200人を超えるボランティアの皆さまに活動していただきました。

土砂のかき出しなど、被災者から寄せられた約30件の支援依頼に対応することができました。

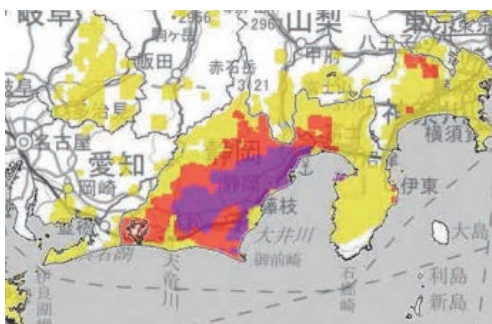
皆さまのご協力ありがとうございました。

# 台風シーズン前、今のうちからできることを

## 災害発生時の情報収集

被害を最小限に抑えるためには、迅速に安全な場所に避難することとともに、情報収集も重要になってきます。市では避難情報や気象情報など、さまざまな情報を同報無線やホームページ、いわたホットとメール、LINE などを通じて皆さまに発信しています。

また、大雨や洪水などの危険を視覚的に知ることができる「キキクル」や「サイポスレーダー」などを使って、自分が今いる場所は安全なのか、これから雨が激しく降ってくるのかなど、最新の情報を入手しましょう。



- ・雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示  
(気象庁ホームページ上で10分ごとに更新)
- ・土砂災害・浸水害・洪水それぞれの危険度を  
5段階に色分けして表示



気象庁「キキクル」

パソコン、スマートフォンから

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

## 皆さまからの情報発信

今年度から、(株)JX 通信社と連携協定を締結し、ニュースアプリを活用して皆さまが SNS 上に投稿した災害情報の中から、「磐田市」をキーワードに情報を集約するシステムを導入しました。これにより被害状況把握の迅速化や対応すべき事項の優先度を迅速に決定することができます。

利用方法など詳しくは、29ページをご覧ください。



## 大雨警報は2種類ある？

今回の台風第2号に伴う大雨では、午前・午後の2回「大雨警報」を発表しました。「なぜ2回も出たんだろう」と思った方もいるのではないのでしょうか。

実は**大雨警報は2種類あり**、大雨により土砂災害または浸水害が発生する恐れがあると予想した時にそれぞれ発表するため、午前と午後は別々の大雨警報を発表しました。

発表される大雨警報によって開設される避難所が異なります。お住まいの地域がどの警戒エリアに含まれているのか、避難所はどこが開設されるのか、市ホームページでご確認ください。(ページ番号:1009748)

大雨警報	
土砂災害	浸水害
大雨により地盤が緩み、土砂崩れや崖崩れが発生する危険がある	短時間で大雨が降り、低地での浸水や道路冠水が発生する危険がある
An illustration showing a cross-section of a hillside with a landslide occurring. A smartphone icon is overlaid on the scene, indicating that a landslide warning is issued.	An illustration showing a building partially submerged in water, representing flooding. A smartphone icon is overlaid on the scene, indicating that a flooding warning is issued.

## 磐田市の災害対応力を強化します

磐田市防災戦略監 山下 あいひと 愛仁

～略歴～

令和5年3月まで航空自衛隊で勤務し、数々のポストを歴任。令和5年4月から防災戦略監として着任。

近年の激甚化<sup>げきじんか</sup>する災害は、我々の想像を超える規模で襲ってきます。そのため、被害を最小限に抑える減災への取り組みが重要であり、普段からの情報収集がポイントになります。

「災害情報」は、大きく2つに分けられます。1つは災害が発生する前に収集することができる避難場所などの事前情報。もう1つは災害発生時、発生後に発令される避難指示などです。これらの情報を適切に活用するためには、日頃からの心構えがとても大切になります。なぜなら、人間には正常性バイアス、すなわち「私は大丈夫」という心理があるからです。この正常性バイアスを排除し、災害発生時に適切に行動するためには、普段から事前情報を収集し、行動のあり方をシミュレーションしておくことが重要です。



また、自然災害の激甚化は、市役所や消防団をはじめとした公的機関による「公助」だけで対応する事が、ますます難しくしていることをご理解いただきたいと思います。そのため、自分の身は自分で守る「自助」、自治会など地域全体で力を合わせる「共助」、この2つが必要不可欠です。居住場所や職場、外出先などから一番近い避難場所はどこなのかを確認し、各種避難訓練への参加などにより、いざという時への備えがとても大切なのです。

今後も予想される大雨などに際しては、気象庁や市などから発信する情報を収集し、早めの準備や避難行動に心掛けてください。

防災・減災について、ご理解とご協力をお願いします。

## 磐田市からの災害に関するお知らせ

### 磐田市 LINE 公式アカウントをご利用ください

磐田市 LINE 公式アカウントでは、自宅や職場など自分が今いる場所の近くの避難所を調べて、現在地から避難所までの経路を表示できます。

また、同報無線の放送内容や気象情報を確認できます。



▲友だち登録



### 台風など災害発生時の家庭ごみの処理方法

台風接近時でも基本的に生活ごみの収集を実施しますので、通常どおり分別し、指定された収集日に、地域のごみ集積所へ出してください。飛来ごみ（自分の敷地に飛来した所有者不明のごみ）についても、通常の分別ルールに従ってごみ集積所に出してください。

災害の状況によりごみの収集を一時的に停止する場合は、市ホームページなどでお知らせします。また、可燃ごみを優先して収集を再開します。（ページ番号：1005984）